

1 雑誌・報告書等 (2007 年度)

(1) 大気騒音振動研究担当

○川崎市公害研究所年報、第 34 号

- ・川崎市における粗大粒子 (PM_{2.5-10}) 及び微小粒子 (PM_{2.5}) の成分組成 (2006 年度)
山田大介、竹内浄、原久男、井上俊明
- ・川崎市における大気中揮発生有機化合物調査結果 (2002 年度～2006 年度)
盛田宗利、鈴木隆生、石田哲夫、井上俊明
- ・川崎市におけるヒートアイランド現象の実態調査 (2006 年度)
上坂弘、石田哲夫、小倉隆、竹内浄、山田大介、原久男
- ・建設作業場における騒音の発生状況調査結果
鴨志田均
- ・川崎市における航空機騒音観測結果
鴨志田均、佐藤賢二、高見澤俊文、青木和昭

○化学物質と環境、平成 18 年度化学物質分析法開発調査報告書 (Ⅱ. 大気中の化学物質に関する分析法 (GC/MS) :

ナフタレン、ビフェニル、1-クロロナフタレン、アクリル酸、ヒドラジン、平成 18 年度環境省受託業務)
小塚義昭、江原均

○全国環境研会誌、33、p. 27～34 (2008)

- ・テープろ紙を用いた 2006 年初夏における川崎市内の高濃度 SPM 解析
山田大介

○騒音制御、Vol. 31、No6、439～444 (2007) ((社) 日本騒音制御工学会)

- ・相談行政から見た評価指標
鴨志田均

○騒音評価手法及び規制手法等検討調査業務報告書 ((社) 日本騒音制御工学会 : 平成 19 年度環境省請負業務)

鴨志田均 (分担執筆)

○大気環境学会誌、第 42 巻、第 4 号、p. 209～218 (2007)

- ・テープろ紙を用いた川崎市における SPM 高濃度時の無機粒子の二次生成に関する研究
竹内浄、井上俊明

○分析化学、第 56 巻、第 10 号、p. 885～889 (2007)

- ・電子プローブマイクロアナライザーを用いたテープろ紙上の浮遊粒子状物質の元素分析
竹内浄、井上俊明

(2) 水質研究担当

○川崎市公害研究所年報、第 34 号

- ・平成 17 年度川崎港湾域における化学物質環境実態調査
千室麻由子、千田千代子、高橋篤、西村和彦
- ・川崎市内の河川、海域における化学物質濃度分布調査 (2005～2006 年度)
千室麻由子、千田千代子、高橋篤、西村和彦
- ・川崎市内の地下水及び公共用水域における塩化メチル及びアクリル酸メチルの実態調査
千田千代子、井上法和、千室麻由子、高橋篤
- ・川崎市における地下水及び公共用水域中の化学物質の実態調査
井上法和、千田千代子、吉田謙一、小池順一、千室麻由子、西村和彦
- ・川崎市内河川の親水施設調査結果 (2006 年度)
近藤玲子、田中利永子、吉田謙一
- ・多摩川河口干潟の生物及び底質調査結果 (2006 年度)
田中利永子、近藤玲子、吉田謙一
- ・色汚染度の分析法の検討
鈴木万里子、林光一
- ・オープンラボ 2006 一川の生きものと水質調べ
近藤玲子、田中利永子、吉田謙一、矢島実
- ・水環境セミナー 2006 一川の生きものとの出会い
吉田謙一、田中利永子、近藤玲子、矢島実

○化学物質と環境、平成 18 年度化学物質環境実態調査結果報告書（初期環境調査及び詳細環境調査、平成 18 年度環境省受託業務）

千室麻由子、井上法和、千田千代子、高橋篤

(3) 都市環境研究担当

○川崎市公害研究所年報、第 34 号

・環境科学教室 2006 「ペットボトルで繊維を作ろう」、「スチレンカップでキーホルダーを作ろう」実施報告
小倉隆、鈴木利康、三澤隆弘、湯川茂夫、関根俊郎、矢島実

○大気環境学会誌、第 42 巻、第 4 号、p. 209～218 (2007)

・テープろ紙を用いた川崎市における SPM 高濃度時の無機粒子の二次生成に関する研究
竹内 淨、井上 俊明

2 学会発表・講演等(2007 年度)

(1) 大気騒音振動研究担当

- ・川崎市における化学物質調査について：平成 19 年度全環研協議会関東甲信静支部大気専門部会、2007 年 9 月、川崎市、小塚義昭
- ・ディーゼル車運行規制以降の PM2.5 成分の動向：第 48 回大気環境学会年会、2007 年 7 月、岡山県、山田大介、鈴木隆生、竹内浄、原久男、時岡泰孝、安倍悠史、井上俊明
- ・新幹線鉄道における高周波音の発生事例について：平成 19 年度全環研協議会関東甲信静支部騒音・振動専門部会、2007 年 7 月、静岡県、鴨志田均
- ・騒音・振動・低周波音測定実習講師：環境省環境調査研修所 平成 19 年度騒音振動防止研修、2007 年 7 月、鴨志田均

(2) 水質研究担当

- ・川崎市における地下水及び公共用水域中の化学物質の実態調査：第 31 回環境・公害研究合同発表会、2007 年 6 月、横浜市、井上法和
- ・水環境中における塩化メチル及びアクリル酸メチルの分析：第 16 回環境化学討論会、福岡県北九州市、2007 年 6 月、千田千代子
- ・川崎市内河川の親水施設について：平成 19 年度全環研協議会関東甲信静支部水質専門部会、2007 年 10 月、茨城県土浦市、近藤玲子
- ・川崎市における地下水及び公共用水域中の化学物質の実態調査：第 34 回環境保全・公害防止研究発表会、2007 年 11 月、大分県、井上法和
- ・川崎市における親水施設調査－環境学習への展開－：平成 19 年度環境局政策提言・研究成果発表会、2008 年 2 月、川崎市、近藤玲子
- ・川崎市の公共用水域における 1,3-ブタジエンについて：第 42 回日本水環境学会年会、2008 年 3 月、愛知県名古屋市長古屋大学、千田千代子

3 2007年度 環境教育関係実績

No	実施日	事業名・団体名	人数	目的等	内容	実施場所
1	5月29日	宮前小学校	130名	環境学習への協力	「水の流れ」「大気汚染」について	宮前小学校
2	6月11日	菅生小学校	105名	環境学習への協力	平瀬川の水質調べ及び水生生物の観察について	平瀬川下流
3	6月20日	オープンラボ2007	25名	環境学習への協力	牛乳パックと使用済みコピー用紙からハガキを作ろう	公害研究所
4	7月9日	西丸子小学校	91名	環境学習への協力	保水性舗装の温度測定とその効果について	等々力緑地駐車場
5	7/24.25	夏休み多摩川教室	420名	環境学習への協力	多摩川二子新地	公害研究所
6	8月1日	子どもエコチャレンジ支援	21名	市民・団体等学習支援力	温暖化の仕組みについて	青少年の家
7	8月3日	小学校教員	30名	教職員実技研修	温暖化の仕組みについて	土橋小学校
8	8月9日	第1回環境セミナー	8名	環境学習への協力	「水環境と干潟」「水生生物の標本作成」	公害研究所
9	8月17日	夏休み環境科学教室	50名	環境学習への協力	地球温暖化の仕組みについて	公害研究所
10	8月20日	多摩川クラブ支援	3名	市民・団体等学習支援	河口干潟について	公害研究所
11	8月22日	第2回環境セミナー	8名	環境学習への協力	生物採取と観察及び水質調査	多摩川河川敷
12	8月28日	県立川崎高校	3名	環境学習への協力	多摩川での生物観察と水質調査	多摩川河口
13	9月14日	海外研修生受入れ	2名	国際協力	多摩川の生物調査と水質について講義と実習	公害研究所
14	9月20日	第3回環境セミナー	8名	環境学習への協力	ヒートアイランド対策道路舗装財等の温度測定	公害研究所
15	9月26日	第4回環境セミナー	8名	環境学習への協力	干潟での生物観察と水質調査	多摩川河口干潟
16	10月18日	第5回環境セミナー	8名	環境学習への協力	大気中のアスベスト濃度の現状と測定について	公害研究所
17	10月24日	川崎区中学校保険委員の集い	60名	環境学習への協力	温暖化の仕組みについて	宮前中学校
18	12月7日	川崎看護専門学校	17名	市民・団体等学習支援	水質、大気、騒音等の講義と所内見学	公害研究所
19	12月11日	宮前小学校	121名	環境学習への協力	水の浄化実験とモバイルウォーターについて	宮前小学校
20	2月5日	小田小学校	102名	環境学習への協力	「環境を考える」お話と質問	小田小学校
21	2月8日	渡田小学校	52名	環境学習への協力	水の浄化実験とモバイルウォーターについて	渡田小学校